

2022年3月9日

株式会社 愛知銀行

「健康経営銘柄2022」に初選定、「健康経営優良法人2022（大規模法人部門（ホワイト500）」には4年連続で認定されました

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「健康経営銘柄2022^{※1}」に初めて選定されました。また、経済産業省および日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2022（大規模法人部門（ホワイト500））^{※2}」に4年連続で認定されましたのでお知らせいたします。

「健康経営銘柄」の選定は2015年より実施されており今回で8回目となりますが、東海3県に本店を持つ地方銀行としては初めて選定されたものであり、全国の地方銀行においても2行目です。

当行はこれからも、従業員とその家族の健康を重要な財産と位置づけ、戦略的に健康管理・健康づくりに取り組むことで生産性の向上と組織活性化を図り、経営理念である「地域社会からの信頼を大切にし、地域社会の繁栄に貢献します」の実現を目指していきます。



- ※1 経済産業省と東京証券取引所が共同で上場企業の中から「健康経営」に優れた企業を選定し、長期的な視点からの企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介する取り組みで、原則1業種から1社が選定されます。2022年度の健康経営銘柄には、32業種50社が選定されております。
- ※2 経済産業省および日本健康会議が共同で従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人を顕彰する健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において、特に優良な健康経営を実践している上位500法人を認定する取り組みです。

<参考>

1. 「あいぎん健康宣言」（2018年10月1日制定）

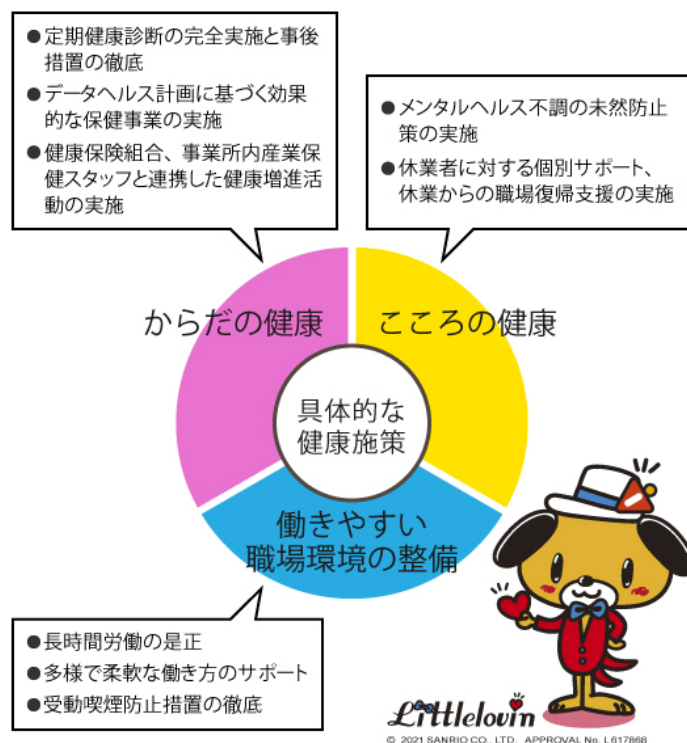
～あいぎん健康宣言～

愛知銀行は、経営理念である「地域社会からの信頼を大切にし、地域社会の繁栄に貢献します」を永続的に行っていくため、従業員とその家族の心身の健康こそが重要であると考え、従業員一人ひとりの健康意識の向上、心身の健康増進、働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

また、金融サービスの提供や地域活動を通じて、健康で活力ある健康づくりに貢献していきます。

2. 主な取組みと評価ポイント

当行は、「人」を最大の財産とし、従業員の生産性や働きがいを高めるため、「健康意識の向上」「心身の健康増進」「働きやすい職場づくり」を目指しています。近年は「睡眠」を課題と捉え、睡眠習慣の改善によって生活習慣病の発症リスクを抑えることを目指し、「帰宅時間が遅くなると睡眠時間が短くなる」との仮説に基づき、時間外労働の削減に積極的に取り組んでまいりました。その結果、時間外労働の削減と睡眠時間の改善に繋げることができ、今後は「適正な睡眠習慣を有する者の割合を」を高め、睡眠の質の向上にも取り組んでいく方針です。



以 上